

長尾隼人正一勝公

没四百年忌法要

ならびに

記念講演会

ご案内

お通り保存振興会

長尾隼人正一勝公は慶長5年（1600）広島藩主となった福島正則の三家老の一人として東城一万石の城主となりました。以後、城下町東城の町づくりを積極的にすすめ、現在に続く東城繁栄の礎を築きました。そして元和4年（1618）11月29日に大往生を遂げました。

今年平成30年（2018）は、長尾隼人公が亡くなられてから四百年という年となります。お通り保存振興会におきましては、『お通り』を開催するにあたり、毎年千手寺・供養塔にて墓前法要を営んで参りましたが、今年は広く東城の皆様と伴に長尾公の功績を偲び慰霊をいたしたくその場を設える事といたしました。どうか一人でも多くの皆様にご参集いただきますようご案内いたします。

日 時：平成30年10月29日（月）

午後1時より

場 所：三楽荘

日 程： 午後1時00分

午後1時30分

午後2時00分

午後4時00分

長尾隼人正一勝公 没四百年忌法要

参列者全員による献花

記念講演「長尾隼人と五品嶽城」

講師：郷土史家（城郭研究） 篠原達也氏

閉会

【関ヶ原合戦図屏風】



「東軍先鋒福島正則隊として、西軍と戦う長尾隼人正一勝公」